

医療的ケア児の外出・通学支援に関するアンケートの集計結果

1 アンケート調査実施概要

1. 調査目的:

医療的ケアの必要な児童・生徒の外出・通学支援の利用実態を調査し、必要な外出・通学時の送迎支援のあり方について検討することを目的として実施した。

2. 調査方法: 郵送による質問紙調査(返信用封筒にて回収)。

3. 調査回答期間: 2017(平成29)年9月1日～10月31日

4. 調査対象及び回収結果:

2017年7月1日時点で、各都道府県の通学通所支援を実施している自治体の中から、重症心身障害児を受け入れている事業所又はその可能性がある219事業所を対象とし、回答数は55事業所(回答率25%)から得られた。

5. 調査に際しての倫理的留意:

調査目的を明らかにし、個々の内容が公表されない旨を説明の上、協力同意を得た。調査データは管理者が一元的に管理している。

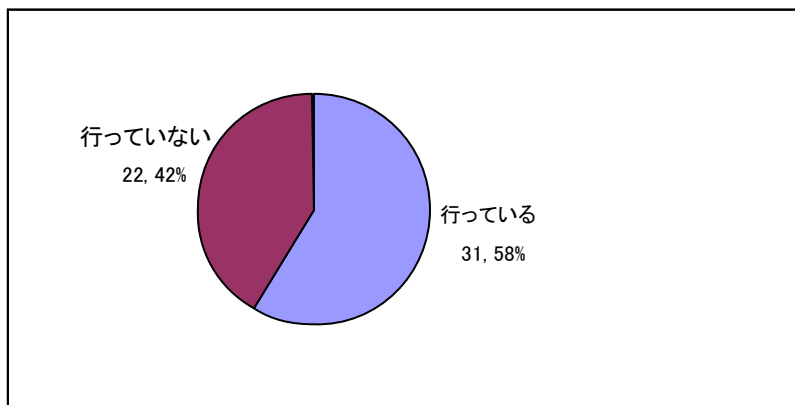
2 アンケート調査結果

アンケート発送数 219件 回答総数 55件 回収率 25%

全回答者について(55件中)

- 行っている事業
 - 移動支援 47件 85%
 - 同行援護 21件 38%
 - 行動援護 7件 13%
 - 通院等介助 30件 55%
 - 通院等乗降介助 3件 5%
 - 重度訪問介護 50件 91%
 - なし 2件 4%

- 通学通所支援事業を行っているか
 - 行っている 31件 58%
 - 行っていない 22件 42%



- 事業所の登録状況
 - 登録特定行為事業者として登録している 37件 67%
 - 登録喀痰吸引等事業者として登録している 15件 27%
 - 登録していない 4件 7%

- 登録している場合の実施可能な行為
 - 口腔内吸引 47件 85%
 - 鼻腔内吸引 40件 73%
 - 気管カニューレ内吸引 37件 67%
 - 胃ろう 又は 腸ろう 39件 71%
 - 経鼻経管栄養 23件 42%

●喀痰吸引可能な職員数

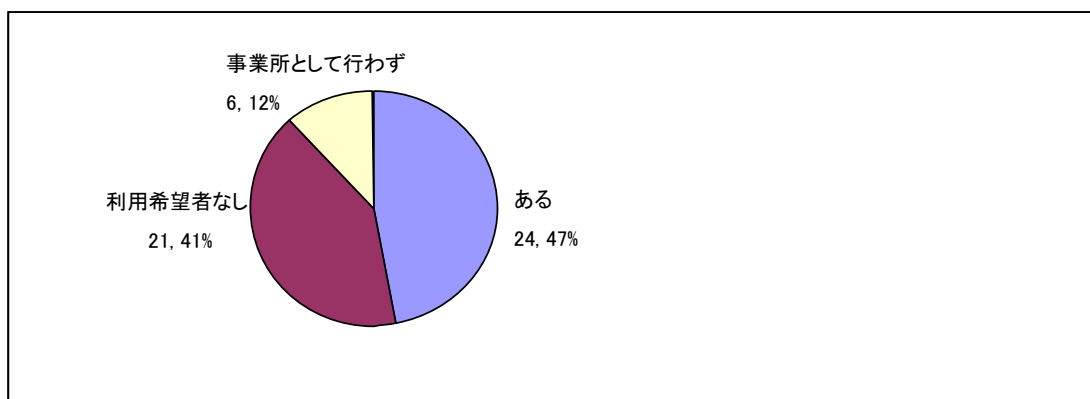
	なし	1名	2～3名	4～5名	6名以上
認定特定行為業務従事者 (特定の者対象)	12件 22%	2件 4%	10件 18%	10件 18%	21件 38%
認定特定行為業務従事者 (不特定の者対象)	37件 67%	9件 16%	2件 4%	4件 7%	3件 5%
介護福祉士(実地研修終了者)	32件 58%	2件 4%	6件 11%	6件 11%	9件 16%
准看護師	45件 82%	6件 11%	3件 5%	1件 2%	—
正看護師	48件 87%	2件 4%	1件 2%	1件 2%	3件 5%

●医療的ケアの必要な方の利用はあるか

ある 24件 47%

利用希望者なし 21件 41%

利用希望者はあるが事業所として行っていない 6件 12%



●事業所として行っていない理由

医療的ケアのできる職員の配置が難しい 6件 100%

支援の急変などに対応できない 4件 67%

その他 2件 33%

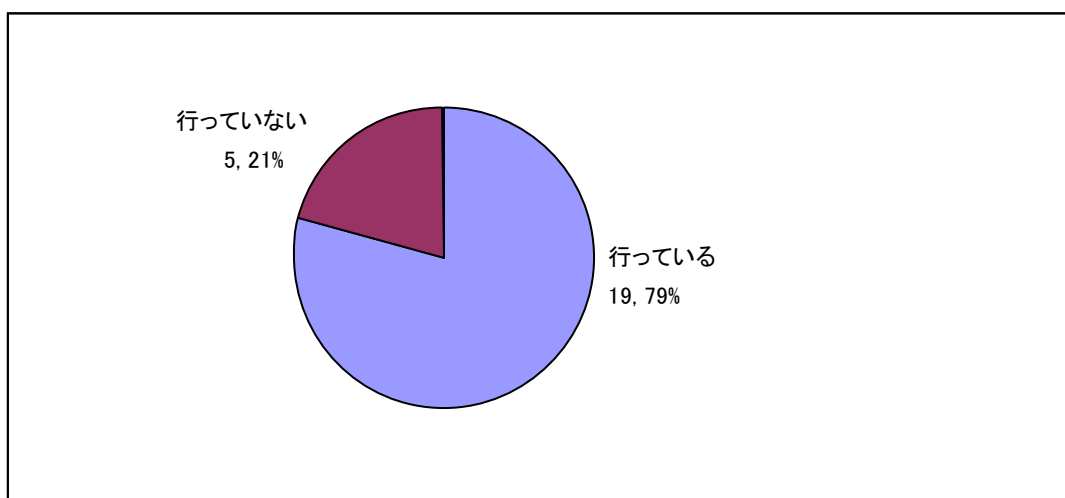
- ・人員不足

- ・支援体制は整える様になっている。3号は受けてもらう様に off.jt をしている

医療的ケアの必要な方の利用のある事業所のみ抽出(24件中)

- 行っている事業
 - 移動支援 21件 88%
 - 同行援護 10件 42%
 - 行動援護 3件 13%
 - 通院等介助 17件 71%
 - 通院等乗降介助 3件 13%
 - 重度訪問介護 23件 96%

- 通学通所支援事業を行っているか
 - 行っている 19件 79%
 - 行っていない 5件 21%



●喀痰吸引可能な職員数

	なし	1名	2～3名	4～5名	6名以上
認定特定行為業務従事者 (特定の者対象)	1件 4%	—	2件 8%	6件 25%	15件 63%
認定特定行為業務従事者 (不特定の者対象)	16件 67%	3件 13%	2件 8%	1件 4%	2件 8%
介護福祉士(実地研修終了者)	12件 50%	1件 4%	2件 8%	4件 17%	5件 21%
准看護師	17件 71%	4件 17%	2件 8%	—	1件 4%
正看護師	19件 79%	1件 4%	1件 4%	1件 4%	2件 8%

●医療的ケアの必要な方の登録者数合計 110名

必要な医療行為	口腔・鼻腔内喀痰吸引	81名	74%
	気管カニューレ内吸引	62名	56%
	胃ろう・腸ろう	75名	68%
	経鼻経管栄養	14名	13%
	人口呼吸器使用	36名	33%
	在宅酸素使用	13名	12%
	その他(導尿)	2名	2%

外出の支援者	正看護師または准看護師の有資格者	3件	13%
	介護福祉士又は認定特定行為従事者	24件	100%
	上記以外の非医療職の事業所職員	4件	17%
	その他	1件	4%

(該当者に対し、サービス実績の多いヘルパー・重訪研修修了者等)

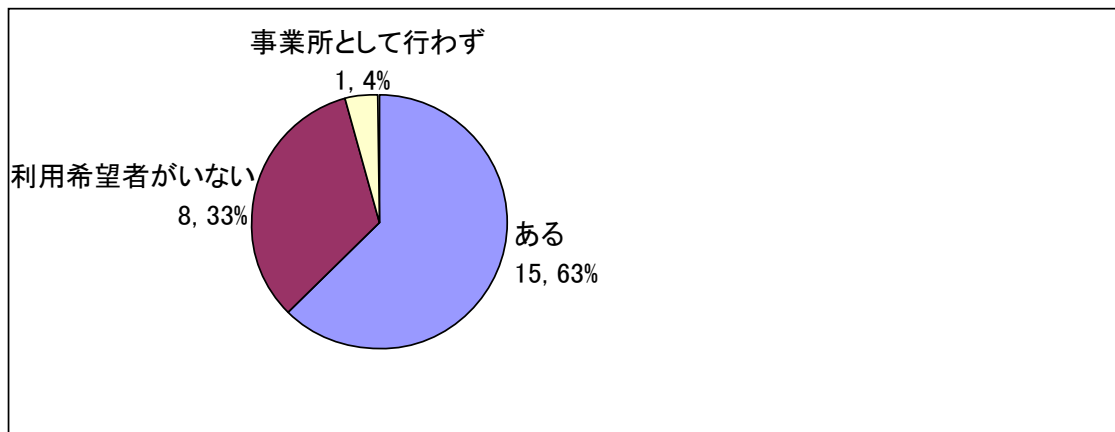
●外出の支援中に医療的ケア又は医療職による見守りが必要となる障害児者の利用

ある 15件 63%

利用希望者がいない 8件 33%

利用希望者はいるが事業所として行っていない 1件 4%

(事業所として行っていない理由;医療的ケアのできる職員の配置が難しい)



外出の支援中に医療的ケアまたは医療職による見守りが必要となる

障害児者の利用のある事業所のみ抽出(15件)

●喀痰吸引可能な職員数

	なし	1名	2～3名	4～5名	6名以上
認定特定行為業務従事者 (特定の者対象)	1件 7%	—	2件 13%	4件 27%	8件 53%
認定特定行為業務従事者 (不特定の者対象)	9件 60%	1件 7%	2件 13%	1件 7%	2件 13%
介護福祉士(実地研修終了者)	9件 60%	—	—	2件 13%	4件 27%
准看護師	12件 80%	1件 7%	1件 7%	—	1件 7%
正看護師	11件 73%	—	1件 7%	1件 7%	2件 13%

●外出の支援中に医療的ケア又は見守りが必要な方の登録者数合計 68名

必要な医療行為	口腔・鼻腔内喀痰吸引	52名	76%
	気管カニューレ内吸引	40名	59%
	胃ろう・腸ろう	46名	68%
	経鼻経管栄養	7名	10%
	人口呼吸器使用	27名	40%
	在宅酸素使用	9名	13%

外出の支援者	正看護師または准看護師の有資格者	4件	27%
	介護福祉士又は認定特定行為従事者	15件	100%
	その他	2件	13%

(該当者に対し、サービス実績の多いヘルパー・重訪研修修了者等)
(家族)